

## 1 基本理念

文明の発達によりもたらされた物質的に豊かな生活は、地球規模での環境悪化を招いており、地球温暖化などの環境問題は、国際的にも 21 世紀における重要課題の一つとして位置づけられています。今日の環境問題は被害者も同時に加害者であるとの複雑な側面があり、対応を困難にしていますが、問題の解決に向けて歩みを進めていく上では、私たちがまずこのことを自覚し行動しなければなりません。

公益財団法人 国際環境技術移転センター（ICETT）は、環境負荷の少ない持続的な発展が可能な社会を築くため、わが国及び諸外国が有する地球環境保全に資する技術を移転することを目的とした国際的な機関としての努力を重ねてまいります。

その足がかりとして、ICETTはM-EMS（環境マネジメントシステム）を環境管理の基本的仕組みの一つとして導入し、継続的に改善し、着実に取り組んでいくこととします。

## 2 基本方針

- 1) 地球環境保全及び諸外国の環境保全のために、研修、調査、研究、交流、啓発活動を積極的に展開し、国際社会に貢献します。
- 2) 「資源・エネルギーの有効利用」、「リデュース・リユース・リサイクルの推進」に取り組み、環境負荷の低減及び環境汚染の予防に努めます。
- 3) 環境関連の法規制や条例及びその他の要求事項等を順守します。
- 4) この環境宣言（方針）を達成するため、環境改善目標を設定し、常時見直すことにより継続的改善を図ります。
- 5) 環境宣言（方針）及び環境改善目標の伝達は、ITを積極的に活用し、ホームページなどにより広く一般にも公表し、環境保全への貢献を明確にします。
- 6) ICETTの活動に係る環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
  - ① 電気・水の使用量の削減
  - ② コピー用紙使用量の削減
  - ③ ガソリン使用量の削減
  - ④ 環境教育活動・啓発活動への参加
  - ⑤ 情報発信回数の増加

制定 平成 13 年 9 月 1 日

改訂 平成 24 年 11 月 1 日

改訂 平成 26 年 11 月 1 日

公益財団法人 国際環境技術移転センター

専務理事 南 清